

愛知県ハンガリー友好協会会報

2014年8月号

「V4+日本」交流年事業

《ハンガリーフェスティバル in 愛知》

“かわいい絵本の世界とクラリネットの調べ”

早稲田みか（大阪大学教授）

2014年6月8日（日）、午後13:30-16:30、愛知県名古屋市の名古屋国際センターホールにおいて、毎年恒例の「ハンガリーフェスティバル in 愛知」が開催されました。

まず、愛知県ハンガリー友好協会を代表して、寺西むつみ愛知県議会議員のあいさつ、続いて、来賓を代表してカールマン・アンドレア駐日ハンガリー大使館二等書記官のあいさつがあり、来賓（兼松啓子愛知県知事代理国際課長、松本善通名古屋国際センター理事長代理事務局長）の紹介が行われました。

コハーン・イシュトヴァーンさんと高橋ドレミさん



寺西むつみ愛知県議会議員

第一部のコンサートでは、ハンガリーの若手クラリネット奏者コハーン・イシュトヴァーンさんとピアノ伴奏高橋ドレミさんによる「クラリネットの調べ」を楽しみました。コハーン・イシュトヴァーンさんはハンガリー国内外のコンクールで多数の賞を受賞している新進気鋭のクラリネット奏者です。奥様が日本人という縁もあり、現在は日本を活動拠点にして演奏活動をしています。

バルトーク、コーカイ、ヒダシュ、ヴェイネルといったハンガリーの作曲家の作品が演奏されました。その多くが民謡を題材にしたもので、聴衆は哀愁をおびた緩急に富んだメロディー、クラリネット独特の音色、超絶技巧をこらしたすばらしい演奏にすっかり魅了されていました。ピアノ伴奏の高橋ドレミさんの息もぴったりでした。ちなみにお名前のドレミは本名とのことでした。





カールマン・アンドレアさん

第二部の「かわいい絵本の世界」では、まずハンガリー大使館のカールマン・アンドレアさんが、スライドを使ってハンガリーの児童文学とマレーク・ベロニカさんについて紹介をしてくれました。マレーク・ベロニカさんは、日本でも『ラチとらいおん』の作者として広く知られており、たいへん人気のある絵本作家です。

聴衆のなかには『ラチとらいおん』を読んだことのある人もいましたが、作品を知らない人のために、幻灯機用のディア・フィルム版『ラチとらいおん』をスライドで上映し、紹介しました。弱虫の男の子ラチが、ある日突然あらわれた小さな赤いらいおんといっしょに、勇敢な男の子に成長していく物語です。日本では1965年に翻訳出版されて以来、現在に至るまで読みつがれているロングセラー、不朽の名作です。



耳がチェック柄のうさぎとらいおん



「ラチとらいおん」上映

司会：早稲田みか先生

子供たちへらいおんの指人形プレゼント



さらに日本ではほとんど知られていませんが、ハンガリーでは誰もが知っているテレビアニメ「耳がチェック柄のうさぎ」シリーズから2作品が上映されました。せりふがないので、世界中どこでも誰もが理解できる作品です。耳がピンクと白のチェック柄で、体が緑のうさぎが主人公、望遠鏡で町のようすをのぞいて、困っている子どもがいたら、耳をプロペラにしてヘリコプターのように、その子のところへ飛んで行きます。

『広場のチューリップ』では、絵をかくのが大好きな女の子がそこら中にチューリップの絵をかいては怒られているところに、うさぎが飛んできて、女の子を広場に連れていきます。女の子は広場の空いたスペースにたくさんのチューリップをかいてみんなに喜ばれます。『五月祭りのクリスタ』

では、お祭りで人形劇を上演しなければならないのに、肝心の人形たちを家に置き忘れてきてしまいました。そこにうさぎが飛んできて助けてくれます。



マレーク・ベロニカさんのお絵描き歌



最後にマレーク・ベロニカさんがお絵描き歌を披露してくれました。豆



藤川政人参議院議員



酒井庸行参議院議員

作品上映の合間に、カールマン・アンドレアさんがマレーク・ベロニカさんにいろいろと話を聞いてくれました。マレーク・ベロニカさんも小さい頃、絵をかくのが大好きだったこと、人形劇も大好きだったので、しばらく人形劇団で働いたこともあること、それでこのふたつの作品を選んで上映したこと、『ラチとらいおん』の話のアイデアはクリスマスプレゼントとして知人にもらったものであることなど、たいへん興味深く貴重なお話を聞くことができました。



できあがったかなと思うと、やおらかいた紙の上下をひっくり返すベロニカさん、あらあら不思議、サンタクロースになりました。これにはみんな思わず拍手喝采し、子どもたちも大喜びでした。

マレーク・ベロニカさんのお絵描きが終わったところに、当協会会長の藤川政人参議院議員と副会長の酒井庸行参議院議員が会場にかけつけ、それぞれあいさつをしていただきました。

引き続き、ハンガリーの子どもたちとの絵の交換に参加してくれた犬山市の小中学生に感謝状贈呈が行われました。田中志典犬山市長から感謝状と記念品がひとりひとりに手渡されました。



田中志典犬山市長と犬山市の小中学生

今年はハンガリー西部の町ソンバトヘイのヴァーツィ・ミハーイ小学校とレメーニク・シャーンドル小学校と絵の交換を行いました。会場にはハンガリーの子どもたちが描いた絵が展示されました。犬山の子どもたちの絵はすでに5月19日にソンバトヘイのレメーニク小学校で展示され、そのオープニングのようすの写真も会場に展示されました。



ヴァーツィ・ミハーイ小学校の絵

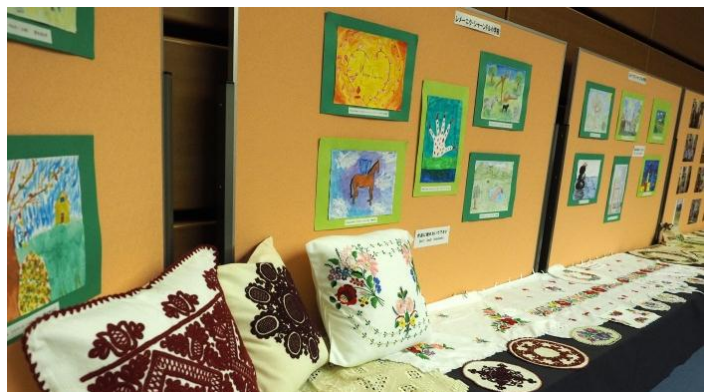


ハンガリー刺繍地図



子どもたちの絵の下には、ハンガリー刺繍サークルのカラフルな刺繍作品がところ狭し並べられ、会場に彩りを添えていました。今春に行った作品展「ベークেশの刺繍」にあわせて完成したハンガリー刺繍地図も展示されました。

ハンガリーでの犬山の子供たちの展覧会の写真



レメーニク・シャーンドル小学校の絵



刺繍作品もたくさん展示しました



その後の交流会では、ハンガリーサラミ、お菓子、ワインなどがふるまわれました。マレーク・ベロニカさんの絵本、ピックのサラミ、スズキや大塚奈美さんのハンガリー物産の販売コーナーもあり、会場はハンガリー一色に包まれていました。



サラミとお菓子



ワインをふるまうアーギさんとアンドールさん



大塚さんのハンガリー物産販売コーナー



サラミ販売コーナー



スズキの販売コーナー

そんななか、マレーク・ベロニカさんの前にはサインを求める人たちの長蛇の列ができていました。お疲れになったのではないかと心配でしたが、あんなにたくさんの人たちが来てくれて本当にうれしかったと言っていました。 マレーク・ベロニカさんのサイン会



「もしやもしやちゃん」の刺繍の袋を覧になるマレークさんとご主人

中日新聞 6月11日(水)県内版

ハンガリー 友好もっと 名古屋でフェス ティバル

県ハンガリー友好協会主催の「ハンガリーフェスティバル」が8日、名古屋市中村区の名古屋国際センターホールであった。

知「(中日新聞社後援)同協会の会員や在日ハンガリー人、市民ら二百五十人が参加。同国出身で東京在住のク

クラリネットとピアノの演奏などが披露されたハンガリーフェスティバル。名古屋市中村区の名古屋国際センターホールで。

「ラチとらいおん」で

知られる同国の絵本作家マレーク・ベロニカさんの講演も。ハンガリーのワインやサラミなどもあり、会場は和やかな雰囲気になりました。

友好協会の志村美生子事務局長は「すてきな音楽、食事などに触れてもらえばハンガリーに魅せられる。紹介の機会を増やし、両国の懸け橋になりたい」と話していた。



マレークさんの絵本販売コーナー

入場者は200人を超えました。こうして今年のハンガリーフェスティバルも大盛況のうちに幕を閉じました。これもご協力いただいたみなさまのおかげです。ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

朝日新聞 6月7日(土)愛知版

ハンガリーフェス 絵本の作者講演も

あす名古屋で開催

県ハンガリー友好協会による「ハンガリーフェスティバル」が8日、名古屋市中村区那古野1丁目の名古屋国際センターで開かれる。日本でも長く読み継がれている絵本「ラチとらいおん」の作者マレーク・ベロニカさん(76)の講演などがある。

ベロニカさんは午後2時から1時間、映像と共に作品について語る。「ラチとらいおん」

は、犬や暗闇を怖がる男の子ラチが、小さな赤い「らいおん」と出会い、成長していく物語。出版元の福音館書店(東京)によると、日本での初版は1965年で、売り上げは累計50万部以上という。

フェスティバルは午後1時半から同4時半まで。クラリネット奏者らによるバルトーク作品などの演奏で始まり、ハンガリーの食材やワインによる交流会(午後3時15分～)などがある。会費は一般1500円、会員千円、中学生以下は無料。問い合わせは同協会事務局(0568・61・1000)。

《犬山の子どもたちの絵がハンガリーで展示されました》

ハンガリー日本友好協会・ソンバトヘイ会長 シュミット・チツラ

ハンガリーの西部、オーストリアとの国境に近い町ソンバトヘイにあるレメーニク小学校で犬山の子どもの絵の展示会が行われました。5月19日（月）のオープニングでは生徒たちが詩を暗唱したり、日本の音楽を演奏したりしました。ソンバトヘイの副市長がオープニングのあいさつを行い、スポンサーである日本の電気機器製造会社TDKの代表が子どもたちに表彰状を手渡しました。



《 センテンドレ市日本庭園プロジェクトへ寄付 》

プロジェクトの目的

2010 年よりヨーロッパの人々の為の公共の日本庭園と日本庭園学校の設立を目的に当プロジェクトは始まりました。当庭園内ではワークショップや様々な芸術関係の活動を予定しています。この試みはハンガリー、延いてはヨーロッパでも新しいもので日本庭園、国際友好関係、日本文化をはぐくみ、日本とハンガリー、ヨーロッパの文化への相互理解と友好関係を促す絶好の施設となることを目指しています。庭園ではすべての年代の方々を対象とした教育的、娯楽的な良質なプログラムを行うことを考えています。



プロジェクトの現況

2013 年 9 月にハンガリー日本庭園協会とセンテンドレ市の間で日本庭園、日本庭園学校用地の無償貸与に関する契約が交わされました。日本庭園は古くから芸術の街として知られるセンテンドレ市中心部のすぐそばに位置します。2013 年 10 月 1 日にはボランティアと協力者によって作業と材料の運び込みが始まりました。重機が入れるよう整地し終え、2014 年には造園作業が始まる計画です。完成は 2015 年春、日本庭園の公開予定です。

愛知県ハンガリー友好協会はセンテンドレ市日本庭園プロジェクトへ 30,000 円の寄付をいたしました。下記のようにお礼状が届きましたのでご紹介します。

愛知県ハンガリー友好協会 御中

拝啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて過日は早々と御寄付をいただきまして、心より深謝申し上げます。

センテンドレ市に日本庭園を建設するという我々の活動をご理解いただき、過分なる御厚意を頂戴致しましたことは、身にあまる光栄に存じております。

今回のプロジェクトにつきましては、多くの方々にご理解と御賛同を頂き、一同深く感謝致しております。

今後も日本庭園建設プロジェクトに関し、一同、精一杯活動していく所存でございます。

今後とも宜しく御指導御鞭撻のほど、お願い申し上げます。

まずは取り急ぎ、書中にて御礼申し上げます。

ハンガリー日本庭園協会代表者 ダニ ゴルターン

《大相撲名古屋場所表彰式－ハンガリー国友好杯授与式》



7月27日(日)大相撲名古屋場所千秋楽、ハンガリー大使の代理として協会のゾンボリ・アンドール理事が優勝者の白鵬関に表彰状とヘレンドの陶器を贈呈しました。

昨年に続き2回目のアンドールさんはとても堂々として表彰状を声高らかに読み上げました。

NHKテレビで映りましたが皆さんご覧になりましたか？

《ハンガリーの花と野菜》

ハンガリーの種で、賀来さんのお家には矢車草とポピーの花が咲きました。きゅうり、パプリカ、白にんじんといんげん豆は志村が育てています。



矢車草



ポピー



きゅうり



パプリカ



パプリカ



白にんじん



いんげん豆

《今後の行事予定》

- ＊ 2014年度通常総会：10月27日(月)18：30～名鉄グランドホテル
- ＊ 親子で楽しむ美術館「ハンガリー展」：11月6日(木)～16日(日)小牧市市民ギャラリー
- ＊ ハンガリー料理でクリスマス会：12月14日(日)名古屋国際センター
詳細は改めてご案内いたします。